コスメディ製薬株式会社

京都府京都市

生産性向上　需要獲得　担い手確保　ものづくり　サービス

ポイント 「マイクロニードル」開発・事業化に傾注、ヒアルロン酸を皮膚に浸透させる高機能性化粧品の量産化に世界で初めて成功

○化粧品のオリジナルブランド「Quanis」を立ち上げ、生産量を拡大している
○同社の保有する特許、ノウハウ及び大学との開発研究に基づくマイクロニードル化粧品の開発
○独自の技術を基に、自主研究開発、共同研究を通じて皮膚関連諸製品開発・販売を行うモデルを確立

企業基本情報

所在地	京都府京都市南区東九条河西町 32
電話 /FAX	075-950-1510/075-950-1512
URL	http://www.cosmed-pharm.co.jp/
代表者	代表取締役 神山　文男
設立	2001 年
資本金	27,000 万円
従業員数	30 人

会社概要

京都薬科大学における経皮吸収関連基礎研究において培った、皮膚と薬物経皮吸収に関する深度化された知見を基盤として、貼付型医薬剤、高機能性スキンケア化粧品等の開発、製造を行っている。特にマイクロニードル技術に着目し、マイクロニードル独自化粧品の開発と国内外への積極的販売に注力している。また、マイクロニードルインフルエンザワクチン開発に関しては、医師との連携により臨床試験第 1 相へと進捗させつつある。

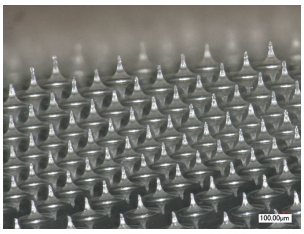
会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

マイクロニードル化粧品を世界に先駆けて製品化に成功

同社はマイクロニードルの活用用途と考えられていた医薬に加えて、化粧品への応用に着目し、2008 年に、世界に先駆けてマイクロニードル（MN）化粧品を製品化し、日本において上市した。MN による経皮吸収により、従来の塗布、貼付型の化粧品に比べてシワへの効果（ラフネス）、美白効果に優位な差があることが示された。

また、自社販売にも力を入れ、2016 年度には自社ブランド「Quanis」を投入して、販売量を伸ばしつつある。



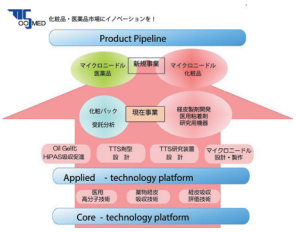
化粧品マイクロニードル電顕写真

独創的経皮吸収システムによる化粧品の開発・製造・販売

同社は、2001 年京都薬科大学内で創設された大学発開発志向ベンチャーである。

同社基幹技術である経皮吸収システム技術に基づくマイクロニードル化粧品は高度な革新性と独創性を有し、2008 年の上市以来、販売の第一企業の位置を守り続けている。

マイクロニードルの医薬への応用に関しては、インフルエンザワクチン開発を医師との連携によりの臨床試験第 1 相へと進めている。



開発体制

オリジナル製品開発と早期上市

同社のビジネスモデルは長期戦略と短期戦略の組み合わせからなる。長期戦略としては新規医薬品の開発（マイクロニードル医薬品開発）を行う。

また、短期戦略としてはオリジナル化粧品の開発を行い、マイクロニードル化粧品、ゲルシート、育毛剤等が既に商品として事業化されている。短期戦略開発品からの収益を原資として長期戦略開発費用としつつ財務的に安定した着実な成長を目指す。

新製品：育毛用マイクロニードル化粧品